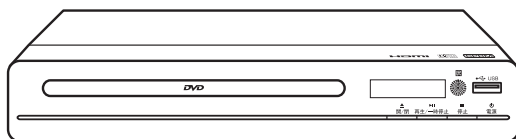


商品名：HDMI端子付き据置DVDプレーヤー  
型番：TH-HDV01

# 取扱説明書




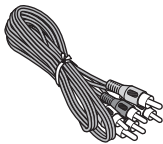
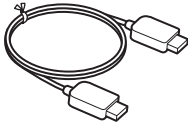
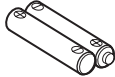
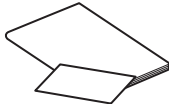
**HDMI™**

HDMI および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

## はじめにお読みください

このたびは当社のHDMI端子付き据置DVDプレーヤーをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、内容を十分理解された上で、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

**付属品** 以下の付属品がそろっているか確認してください。

				
リモコン	AV ケーブル	HDMI ケーブル	リモコン用 単4形乾電池 (動作確認用)	取扱説明書 (本書)・保証書
1 個	1 本	1 本	2 本	各 1 部

ご使用の前に

準備する

基本の操作

便利な機能

設定を変える

その他

# もくじ

<b>ご使用の前に</b>	<b>3</b>
安全上のご注意.....	3
ディスクについて.....	5

<b>準備する</b>	<b>7</b>
各部のなまえ.....	7
本体.....	7
リモコン.....	8
本体・リモコンの準備.....	9
リモコンに電池を入れる.....	9
リモコンの使いかた.....	9
本体をテレビにつなぐ.....	10
電源コードをつなぐ.....	10

<b>基本の操作</b>	<b>11</b>
電源を入／切する.....	11
ディスクを挿入する／取り出す.....	11
DVDを再生する.....	11
早戻し・早送りする.....	12
再生を一時停止する.....	12
再生を停止する.....	12
前、または次の、 チャプターに移動する.....	13
音量を調節する.....	13
メニューを表示する.....	14

<b>便利な機能</b>	<b>15</b>
情報を表示する.....	15
音声を切り換える.....	15
字幕を切り換える.....	15
DVD再生中にできる、 その他の操作.....	16
スロー.....	16
リピート.....	16
ズーム.....	16
アングル.....	16
音楽CDを再生する.....	17
CD再生中の操作.....	17
ディスク情報を表示する.....	18
リピート.....	18
音声を切り換える.....	18
USBメモリやデータディスク内の、 ファイルを再生する.....	19
USBメモリを挿入する.....	19
USBメモリを取り出す.....	19
MP3/WMA・JPEGファイルを再生する.....	20

<b>設定を変える</b>	<b>22</b>
設定メニューを開く・操作する.....	22
メニュー画面の見かた.....	22
設定メニューを開く.....	23
操作・設定のしかた.....	23
基本設定.....	24
音声設定.....	25
デジタル設定.....	25
映像設定.....	26
選択設定.....	28

<b>その他</b>	<b>29</b>
困ったときは.....	29
おもな仕様.....	31
免責事項.....	31
アフターサービス.....	32



# ご使用の前に

## 安全上のご注意




ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 絵表示について










この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。







### 絵表示の例

 注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。	 禁止の行為であることを告げるものです。	 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
--	---	---













## 警告

 電源プラグを抜く	煙が出ている、異臭や異音があるなどの異常状態のまま使用しない 火災・感電の原因となります。 このようなときはすぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。	 <b>禁止</b>	電源コードを傷つけたり、破損させない。また、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 分解禁止	機器を改造しない 火災・感電の原因になります。	 <b>使用禁止</b>	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）使用しない そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
 分解禁止	電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない 火災・感電の原因になります。	 <b>禁止</b>	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
 分解禁止	お客様自身による修理・改造はしない 感電の原因になります。内部の点検・修理は販売店または弊社にご依頼ください。	 電源プラグを抜く	万一、機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 <b>禁止</b>	表示された電源電圧、交流 100V 以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因になります。		

## 警告 (つづき)

 <b>禁止</b>	<p>この機器の開口部（ディスクトレイ部など）から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしない</p> <p>火災・感電の原因になります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。</p>	 <b>水ぬれ禁止</b>	<p>風呂場では使用しない</p> <p>水などをかけないでください。火災・感電の原因になります。</p>
 <b>電源プラグを抜く</b>	<p>万一、異物が機器内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店にご連絡ください。</p>	 <b>水ぬれ禁止</b>	<p>機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない</p> <p>こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になります。</p>
 <b>水ぬれ禁止</b>	<p>水が入る、ぬれるような場所では使用しない</p> <p>火災・感電の原因になります。海岸、水辺では使用しないでください。</p>	 <b>電源プラグを抜く</b>	<p>万一、内部に水などが入った場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店にご連絡ください。</p>

## 注意

 <b>電源プラグを抜く</b>	<p>お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなう</p> <p>長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>移動させる場合は、安全のため電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう</p> <p>電源コードが傷つき、火災・感電の原因になります。</p>	 <b>禁止</b>	<p>夏期の直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になるところに放置しない</p> <p>機器に障害を与え、火災・感電の原因になります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない</p> <p>感電の原因になります。</p>	 <b>禁止</b>	<p>次のような使い方はしない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。</li> <li>・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。</li> </ul>
 <b>禁止</b>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>	 <b>設置注意</b>	<p>キャビネットなど閉めきったところに入れて使うときは、換気のため本機の周り約 3cm 以上空ける</p>
 <b>禁止</b>	<p>電源コードを熱器具に近付けない</p> <p>電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。</p>	 <b>禁止</b>	<p>湿気やほこりの多い場所に置かない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>機器に乗らない</p> <p>倒れたり、こわれたりしてけがの原因になります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。</p>	 <b>禁止</b>	<p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>本体を落としたり、振動を与えない</p> <p>故障・火災・感電の原因になります。</p>	 <b>禁止</b>	<p>ひび・そり・ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しない</p> <p>故障の原因になります。</p>

# ディスクについて

## 再生できるディスクの種類

● 本機は以下のディスクを再生できます。

	ロゴマーク	ディスクサイズ	内容
DVDビデオ		12cm	●映像+音声
			●映像+音声 (VIDEOモード / VRモード対応) ※ファイナライズ処理をおこなわないと再生できません。
音楽用CD		12cm	●音声
CD-R / RW		12cm	●音声 (CD-DA) ※ファイナライズ処理をおこなわないと再生できません。 ●音声 (MP3/WMA) ●静止画 (JPEG)

※DVD-R・DVD-RWはDVDディスクの品質、レコーディング機器の品質により、再生できない場合があります。

## 本機で再生できないディスク

DVD-ROM・DVD-RAM・DVD-Audioは再生できません。

## コピーコントロールCD

本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

## 本機で再生できる

### DVDのリージョンコード (地域番号)

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとにリージョンコード (地域番号) が決められています。

本機はリージョンコード“2” (または“2”を含むもの)、または“ALL”と記載されたディスクの再生ができます。

### JPEGの再生

JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機ではCD-R・CD-RW・CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます。

※記録方式によっては再生できない場合があります。

※ISO9660レベル1・レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。

## ディスク構成について

DVDディスクは通常“タイトル”で分けられ、さらにタイトルを“チャプター”で分けています。また、CDの場合は“トラック”で分けています。



タイトルやチャプター、トラックには順に番号がつけられています。これらの番号を“タイトル番号”、“チャプター番号”、“トラック番号”と呼びます。

※DVDによっては番号が記録されていないものがあります。

1) 使用の前に

## ディスクについて (つづき)

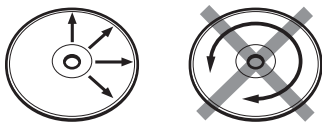
### ディスクの保管

- 下記のような場所には保管しないでください。ディスクが使えなくなることがあります。
  - ・ 直射日光が当たる場所
  - ・ 湿気や埃のある場所
  - ・ ヒーターの近くなど熱気や熱風のある場所、温度や湿度の高い所
- 使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



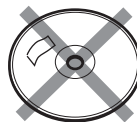
### ディスク取り扱い上のご注意

- 記録面に触れないように持ってください。
- ラベル面  
記録面
- 
- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。

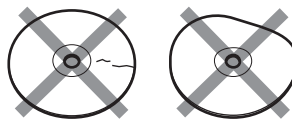


### ディスク使用上のご注意

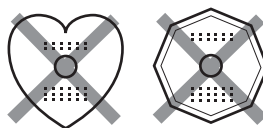
- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですので絶対に使用しないでください。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



- ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。



- ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。



### 温度の変化により水滴が付いたとき

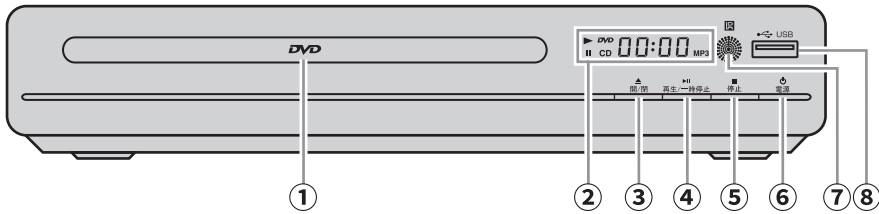
使う前に、やわらかい布などで、必ず放射状に軽くふき取ってください。水分が完全に乾いてからお使いください。

# 準備する

## 各部のなまえ

### 本体

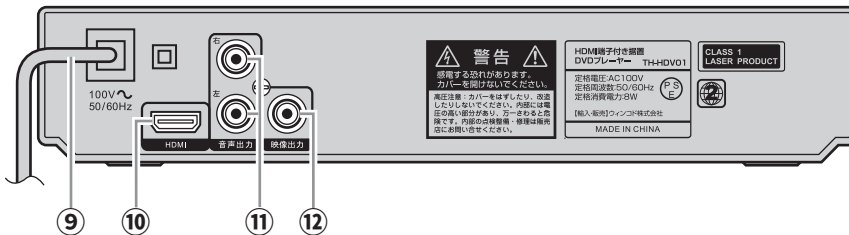
#### 【正面】



準備する

- ① **ディスクトレイ**  
ディスクを挿入するトレイです。
- ② **ディスプレイ表示部**  
ディスク再生時間や本機の状態を表示します。
- ③ **開／閉ボタン**  
ディスクトレイを開閉します。
- ④ **再生／一時停止ボタン**  
再生、または一時停止をおこないます。  
停止または一時停止中に押すと、再生を開始します。
- ⑤ **停止ボタン**  
再生中に押すと、再生を停止します。
- ⑥ **電源ボタン**  
本機の電源を入／切します。
- ⑦ **リモコン受光部**  
リモコンの操作はこの部分に向けておこなってください。
- ⑧ **USB 端子**  
USB メモリを挿入します。

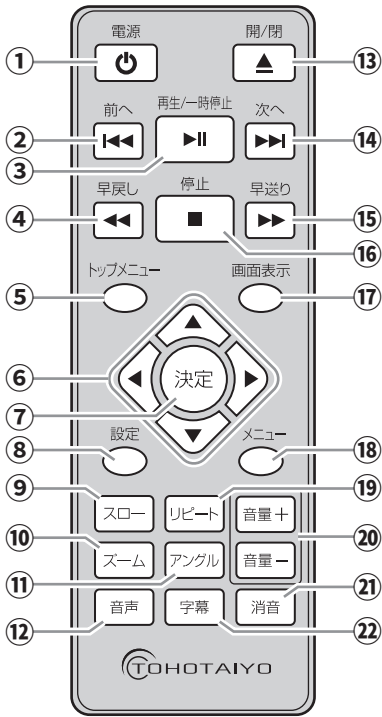
#### 【背面】



- ⑨ **電源コード**  
電源コンセントに接続します。
- ⑩ **HDMI 端子**  
HDMI ケーブルを接続します。
- ⑪ **音声出力端子**  
AV ケーブルの音声プラグ(赤・白)を接続します。
- ⑫ **映像出力端子**  
AV ケーブルの映像プラグ(黄)を接続します。

## リモコン

準備する



### ① 電源

本機の電源を入/切します。

### ② 前へ

再生中のひとつ前のチャプターを再生します。

### ③ 再生/一時停止

再生中に押すと、その場で一時停止します。停止または一時停止中に押すと、再生を開始します。

### ④ 早戻し

再生中に押すと、早戻しします。

### ⑤ トップメニュー

DVD ビデオの場合、トップメニューに戻ります。

### ⑥ 方向 (▲/▼/◀/▶)

DVD メニュー、設定画面などで、カーソル (選択部分) を移動します。

### ⑦ 決定

DVD メニュー、設定画面などで、選択されている部分を確定します。

### ⑧ 設定

本機の設定画面を開きます。

### ⑨ スロー

再生中に押すと、スロー再生をおこないます。

### ⑩ ズーム

画面の一部を拡大・縮小表示します。

### ⑪ アンクル

アンクルの切り換えをおこないます。

### ⑫ 音声

音声の切り換えをおこないます。

### ⑬ 開/閉

ディスプレイを開閉します。

### ⑭ 次へ

再生中のひとつ後のチャプターを再生します。

### ⑮ 早送り

再生中に押すと、早送りします。

### ⑯ 停止

再生中に押すと、再生された位置で停止します。もう一度押すと、完全に停止します。

### ⑰ 画面表示

再生位置、チャプター経過時間などを画面に表示します。

### ⑱ メニュー

DVD ビデオのメニュー画面を表示します。

### ⑲ リピート

再生中のチャプター、タイトル、ディスク全体を繰り返し再生します。

### ⑳ 音量+/-

DVD プレーヤーの音量を調節します。

### ㉑ 消音

音声を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

### ㉒ 字幕

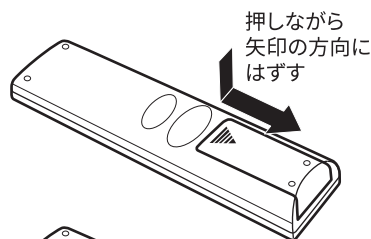
字幕の切り換えをおこないます。



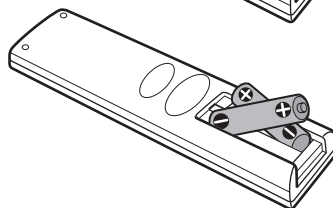
# 本体・リモコンの準備

## リモコンに電池を入れる

- 1** 電池カバーをはずす
- リモコン背面にある電池カバーの▽部を押しながら、矢印の方向にはずします。



- 2** 単4形乾電池2本（付属品）を入れる
- ※ 乾電池はプラス(+)とマイナス(-)の向きを間違えないよう、正しく入れてください。
- ※ 付属の乾電池は動作確認用です。



- 3** 電池カバーを元に戻す

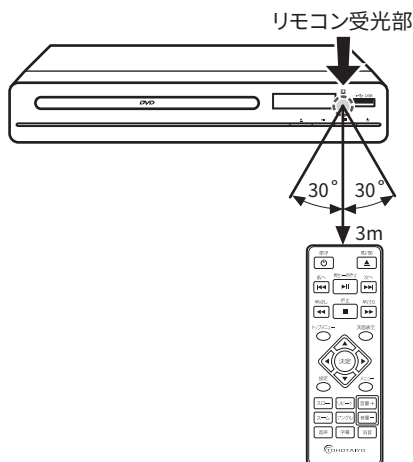
### ⚠ 注意

乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の原因になります。以下の点にご注意ください。

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の異なる乾電池（マンガン乾電池とアルカリ乾電池など）を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。
- 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

## リモコンの使いかた

- リモコンは本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの受光範囲は受光部より約3m以内、角度は上下左右30度以内です。



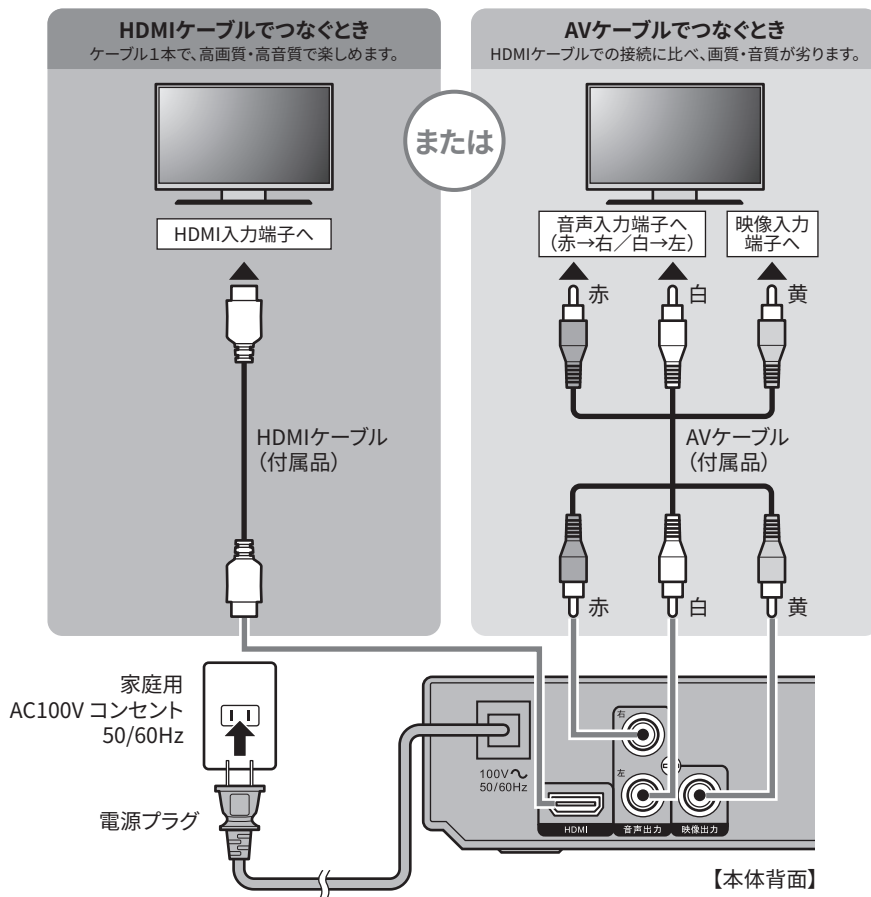
準備する

## 本体をテレビにつなぐ

お使いのテレビに合わせて、HDMI ケーブルまたは AV ケーブルを使って接続してください。  
※テレビ側の接続の詳細についてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

機器を接続するときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

準備する



### HDMI ケーブルを使用して接続するとき

「HDMI 設定」を「オン」に設定してください (⇒ 27 ページ)。

※初期設定は「オン」です。また、必要に応じて「HDMI 解像度」(⇒ 26 ページ) を設定してください。

### 電源コードをつなぐ

テレビとの接続が終わったら、電源プラグを AC コンセントに接続してください。

# 基本の操作

## 電源を入／切する



※本体の電源ボタンでも同様に操作できます。

電源が入ると、本体正面のディスプレイ表示が点灯します。

電源を切ると、ディスプレイ表示は消灯します。

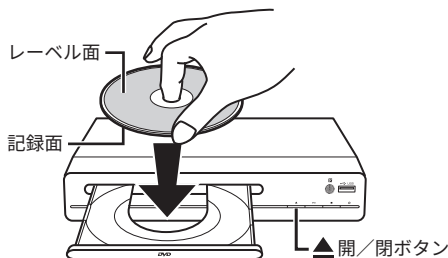


## ディスクを挿入する／取り出す



※本体の開閉ボタンでも同様に操作できます。

ディスクは下図の向きでトレイのくぼみに合うようにセットしてください。



## DVDを再生する

再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→5ページ)をご覧ください。

### 1 本機とテレビの電源を入れる

### 2 本機の映像が映るように、テレビの入力を切り換える

※ テレビ側の入力切替については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

### 3 を押してディスクトレイを開き、ディスクをセットする

### 4 を押す

ディスクトレイが閉まります。

読み込みが完了すると、**自動的に再生が始まります。**

※ ディスプレイには情報が表示されます。




※ 再生が始まらない場合は、【再生／一時停止】を押してください。

※ ディスクによってはメニュー画面が表示されます。

【▲▼▶▶】で項目を選び、【決定】を押してください。

#### メモ

- ボタン操作で無効な操作をすると、画面左上にが表示されます。



## 早戻し・早送りする

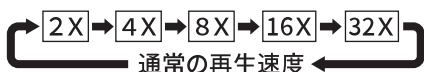
(再生中または一時停止中に)

早送り または 早戻し ボタンを押す

早送り、または早戻し再生が始まります。  
画面には速度が表示されます。



ボタンを押すたび次のように変わります。



※早送り・早戻し中は、音声が出ません。

基本  
の  
操  
作

## 再生を一時停止する

(再生中に) 再生/一時停止 ボタンを押す



もう一度押すと再生を再開します。

## 再生を停止する

(再生中に) 停止 ボタンを押す

再生が停止され、表示が出ます。



もう一度押すと、再生が完全に停止します。



### ✓ポイント

#### 再生を止めたところからふたたび再生する (ラストメモリー機能)

本機は再生中に【停止】を一度押すと、再生が停止されます。

画面に「再生ボタンを押して継続」と表示されます。

この状態で電源を切ると、次回電源を入れたとき、止めたところからふたたび再生が始まります。

- 再生の始まり (位置) は、若干ずれることがあります。
- ラストメモリー機能を無効にするときは (➡ 24 ページ)

## 前、または次の チャプターに移動する

(再生中または一時停止中に)

前へ または 次へ  
◀◀ または ▶▶ を押す

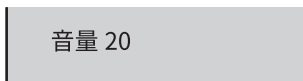


前、または次のチャプターに移動して再生を始めます。

## 音量を調節する

DVD プレーヤーの音量を調節します。

音量+ または 音量- を押す



音量+ を押すと音が大きくなり、

音量- を押すと小さくなります。

音量レベルは 00 (最小) ~ 20 (最大) です。

### メモ

- ・ テレビ側の音量は調節できません。  
テレビの音量はお使いのテレビのリモコンで調節してください。

基本  
の  
操  
作

## 消音

消音 を押す

一時的に音を消します。  
もう一度押すと元の音量に戻ります。  
消音中は画面に表示が出ます。



# メニューを表示する

DVDによっては再生が始まらずに、メニュー画面が表示されることがあります。

メニュー

を押す


メニュー画面が表示されます。



※図は一例です。ソフトにより、表示内容は異なります。

基本の操作


## メニューを操作するには

1 でメニューを選択する

2 を押す

●さらにメニュー項目があるときは、1と2の操作を繰り返します。

トップメニュー

● を押すと「タイトルメニュー」が表示されます。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

### ✓ポイント

#### スクリーンセーバーについて

モニターの画面焼けを防ぐため、停止状態のまま約4分経過すると、スクリーンセーバー画面に切り換わります。



いずれかのリモコンボタンを押すと、スクリーンセーバーが消え、元の画面に戻ります。

- スクリーンセーバーを無効にするときは (⇒ 24 ページ)

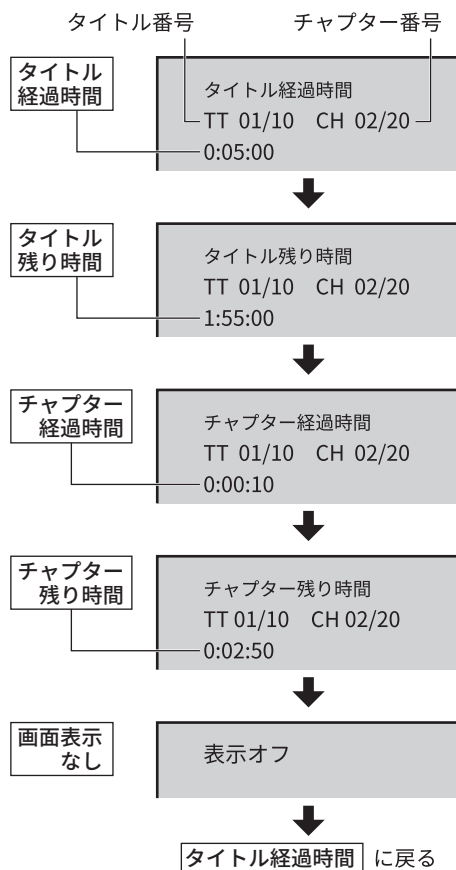
# 便利な機能

## 情報を表示する

再生中のディスクの情報を画面に表示できます。

(再生中に)  を押す

ボタンを押すたび、画面が次のように切り換わります。



## 音声を切り換える

複数の音声記録されたDVDビデオを再生する場合に、音声を選択できます。

再生中に  を押す

ボタンを押すたび、音声を切り換えることができます。

画面には音声の番号・種類・音声言語が表示されます。

音声 1/2 : AC3 5.1CH 英語

※複数の音声データが記録されたDVDビデオを再生する際にお使いいただける機能です。

なお、音声の種類および数はソフトにより異なります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

## 字幕を切り換える

複数言語の字幕が記録されたDVDビデオを再生する場合に、字幕言語を選択できます。

再生中に  を押す

ボタンを押すたび、字幕を切り換えることができます。

画面には字幕の番号・字幕言語が表示されます。

字幕 02/03 : 日本語

※複数の字幕データが記録されたDVDビデオを再生する際にお使いいただける機能です。

なお、字幕の種類および数はソフトにより異なります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

# DVD再生中にできるその他の操作

## スロー

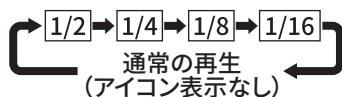
(再生中または一時停止中に)

**スロー** を押す

スロー再生が始まります。  
画面には速度が表示されます。



ボタンを押すたび次のようになります。



※スロー再生中は、音声が出ません。

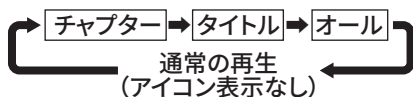
再生/一時停止

**再生/一時停止** を押すと通常の再生に戻ります。

## リピート

**リピート** を押す

ボタンを押すたび、以下のリピートモードに切り換わります。



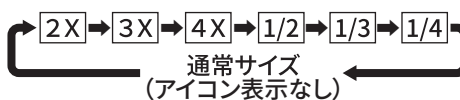
チャプター	選択した“チャプター”がリピート再生されます。
タイトル	選択した“タイトル”がリピート再生されます。
オール	ディスク内のすべてがリピート再生されます。

※ディスクによっては、この機能は使えません。

## ズーム

再生中に **ズーム** を押す

画面には倍率が表示されます。  
ボタンを押すたびに倍率が次のように切り換わります。



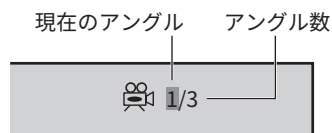
- 拡大表示中は  を押すと、画像を移動することができます。

## アングル

異なるアングルが記録された DVD を再生する場合に、同じシーンを異なるアングルから見ることができます。

再生中に **アングル** を押す

ボタンを押すたび、異なるアングルに切り換わります。



※複数アングルの映像が記録された DVD ビデオを再生する際にお使いいただける機能です。  
アングル対応かどうかは DVD ディスクのケースやジャケットでご確認ください。



## 音楽CDを再生する

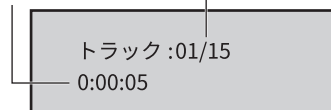
ディスクセットの方法はDVDの場合と同様です (➡ 11 ページ)。

読み込みが完了すると、自動的に再生が始まります。

画面には情報が表示されます。

トラック(曲)番号/総トラック(曲)数

経過時間



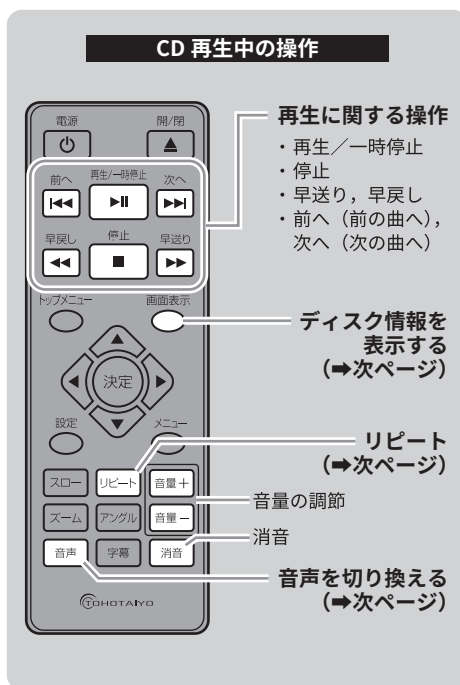
※本体ディスプレイには以下が表示されます。



再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(➡ 5 ページ) をご覧ください。

## CD再生中の操作

CD 再生時は以下のリモコン操作がおこなえます。



便利な機能

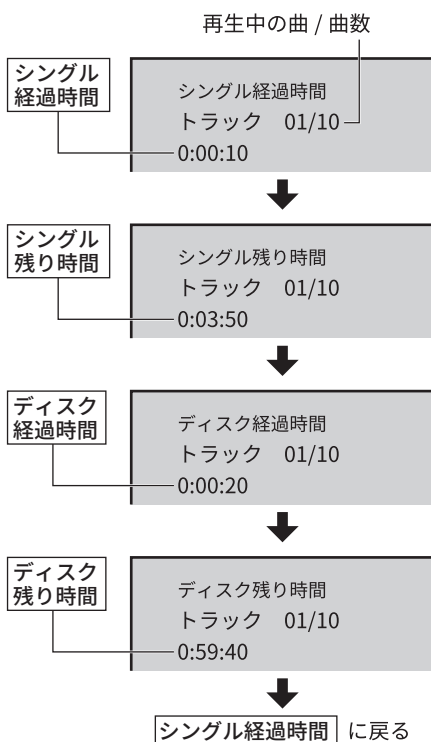
# CD再生中の操作 (つづき)

## ディスク情報を表示する

再生中のディスクの情報を画面に表示できます。

画面表示  
(再生中に)  を押す

ボタンを押すたび、画面が次のように切り換わります。

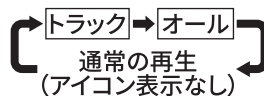


便利な機能

## リピート

 を押す

ボタンを押すたび、以下のリピートモードに切り換わります。



トラック	選択した“トラック (曲)”がリピート再生されます。
オール	ディスク内のすべての曲がリピート再生されます。

## 音声を切り換える

 を押す

ボタンを押すたび、以下の音声モードに切り換わります。



ステレオ	通常のステレオ
モノラル左	左側の音だけが両側のスピーカーから出る
モノラル右	右側の音だけが両側のスピーカーから出る
ミックスモノラル	左右混合のモノラル

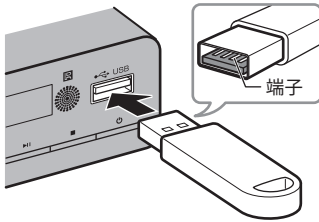
# USBメモリやデータディスク内のファイルを再生する

本機は USB メモリ（最大 16GB）に記録された、MP3/WMA、JPEG、AVI（最大解像度：720×480）ファイルを再生することができます。

## USB メモリを挿入する

本機の電源が「切」の状態  
で、USB メモリを挿入する

本体正面の USB 端子に USB メモリを  
図の向きで挿入してください。



※トレイにディスクが挿入されている場合は、先にディスクを取り出して  
おいてください。

### メモ

- トレイ内にディスク（DVD または CD）がセットされていると、USB メモリが認識されません。
- メディアの優先度はディスク > USB メモリの順番です。優先順位の高いメディアがセットされていると、下位のメディアは認識されません。

## USB メモリを取り出す

再生等の操作を終了し、必ず本機の電源を切ってから USB メモリを取り出す

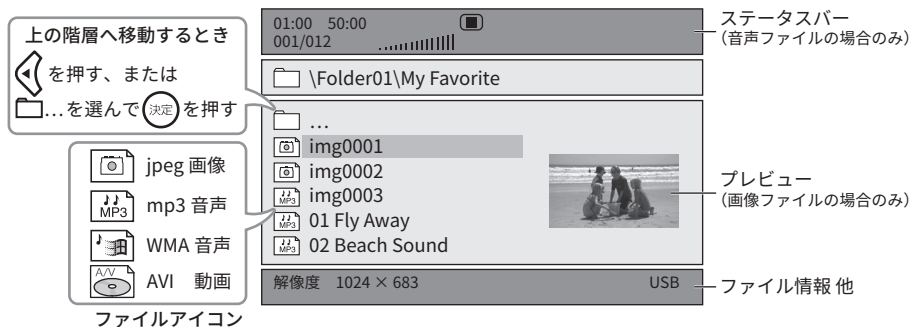
### ① ご注意

- 本機で USB メモリを使うときは、以下の注意事項を必ずお守りください。誤った使いかたによるデータの損失や USB メモリの破損等については一切保証いたしかねます。
  - USB メモリの読込中、再生中または動作終了直後に、USB メモリを引き抜いたり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。
  - 本機で再生できるのは MP3/WMA、JPEG、AVI（最大解像度：720×480）形式のファイルのみです。本機が対応していない形式で記録されたファイルを再生しようとすると、データが破損することがあります。
  - 対応ファイル形式であっても、ファイルの記録状態によっては再生できない場合があります。

# USBメモリやデータディスク内のファイルを再生する(つづき)

## MP3/WMA・AVI・JPEG ファイルを再生する

USBメモリの読み込みが完了すると、画面にフォルダー／ファイル選択画面が表示されます。



ファイル選択画面では、リモコンボタンで以下の操作がおこなえます。

前へ／次へ	再生中	前／次のファイルに移動し、再生をはじめます。
	停止中	ファイル数が多く、画面に表示しきれない場合に、ページ送りをします。
再生／一時停止	選択したファイルを再生します。 JPEG ファイルの場合は、選んだ画像からのスライドショーが開始されます。 再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと再生を再開します。	
停止	再生を停止します。	
方向 (▲/▼/◀/▶)	カーソルを移動します。	
決定	選択したフォルダーやファイルを確定します。 ファイルを選んでいる場合は再生が始まります。	
リピート	リピートモードを切り換えます。再生中に切り換えることもできます。	
	<b>フォルダー再生</b>	再生中のフォルダー内のファイルを再生する
	<b>シングル再生</b>	再生中のファイルを再生する (リピートしない)
	<b>シングルリピート</b>	再生中のファイルをリピートする
	<b>フォルダーリピート</b>	再生中のフォルダー内のファイルをリピートする
※ JPEG ファイル再生中は「フォルダー再生」は選択できません。		
<b>JPEG ファイル・MP3/WMA ファイルを同時に再生している場合</b>		
リピートは JPEG ファイル・MP3/WMA ファイルに対して設定されます。		
音量＋／－	音量を調節します。	
消音	音声を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。	
音声	音声モードを切り換えます。	
	<b>ステレオ</b>	通常のステレオ
	<b>モノラル左</b>	左側の音だけが両側のスピーカーから出る
	<b>モノラル右</b>	右側の音だけが両側のスピーカーから出る
	<b>ミックスモノラル</b>	左右混合のモノラル

# USBメモリやデータディスク内のファイルを再生する(つづき)

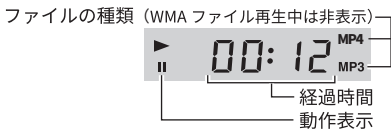
ファイルの再生中は、それぞれ以下の操作がおこなえます。

## MP3/WMA(音声)ファイル再生時の操作

再生中は以下の画面が表示されます。



※本体ディスプレイには以下が表示されます。



## JPEG (画像) ファイル再生時の操作

スライドショー再生が開始されます。

※本体ディスプレイには以下が表示されます。



### ズーム

表示中に **ズーム** を押すと、画面が拡大・縮小表示できます。

拡大中は で表示範囲を移動できます。

※ズーム表示中は一時停止状態となります。

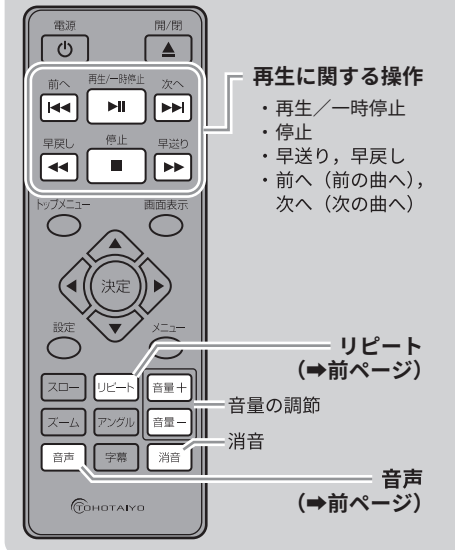
再生を再開するには または を押してください。

### 画像の回転

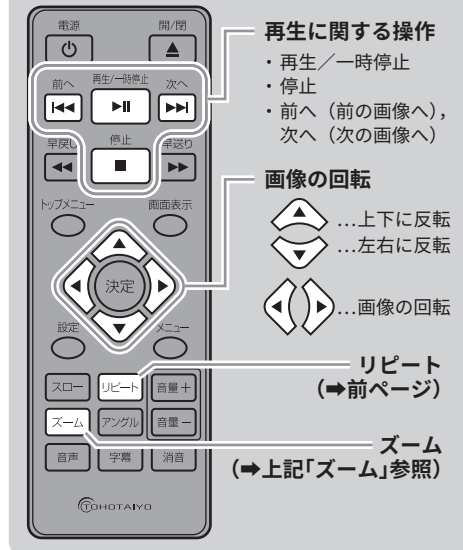
表示中に を押すと、画像を回転または反転して表示できます。

便利な機能

### MP3 ファイル再生中の操作



### JPEG ファイル再生中の操作



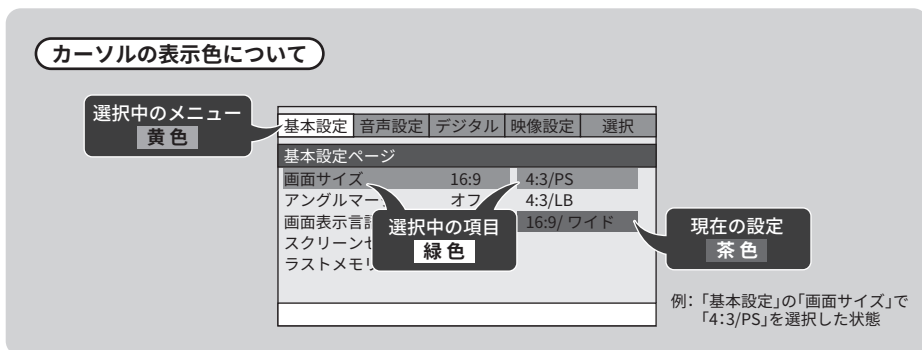
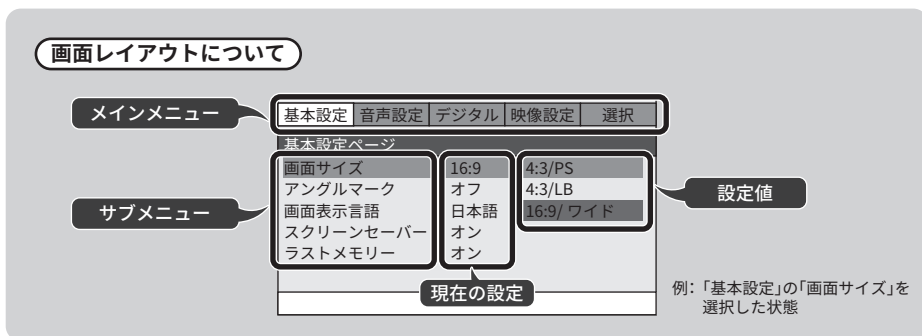
# 設定を変える

## 設定メニューを開く・操作する

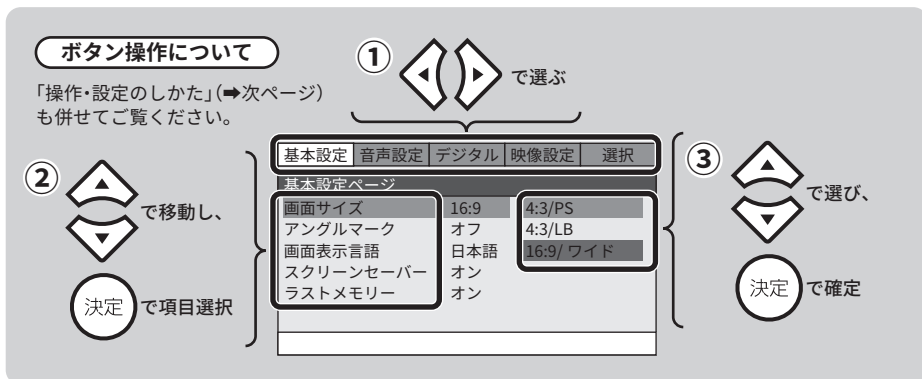
設定メニューでは、画質や音声などのさまざまな設定ができます。

### メニュー画面の見かた

メニュー画面は以下のようになっています。



設定を変える



# 設定メニューを開く・操作する(つづき)

## 設定メニューを開く

設定

を押す

基本設定	音声設定	デジタル	映像設定	選択
基本設定ページ				
画面サイズ	16:9			
アングルマーク	オフ			
画面表示言語	日本語			
スクリーンセーバー	オン			
ラストメモリー	オン			

「基本設定」メニューが表示されます。

## 設定メニューを終了するには

(設定メニュー表示中に) を押す

### メモ

- 電源を入れた直後や、ディスク・メディアの読み込み中は、ボタンを押しても反応しない場合があります。この場合はしばらく待つてから再度操作をおこなってください。

### ①ご注意

- ディスクやメディアの再生中は、「選択」設定を選ぶことができません。  
「選択」設定は、再生を完全に停止した状態、またはディスクやメディアを挿入していない状態にしてからおこなってください。

## 操作・設定のしかた

メニューの操作や設定は次のようにおこないます。

「メニュー画面の見かた“ボタン操作について”」(➡前ページ)も併せてご覧ください。

### ①メインメニューを選ぶ

「サブメニュー」を選んでいない(緑色のカーソルが何も表示されていない)状態で






「メインメニュー」欄のカーソルが移動し、「サブメニュー」欄の表示が切り換わります。

### ②サブメニューの項目を選ぶ



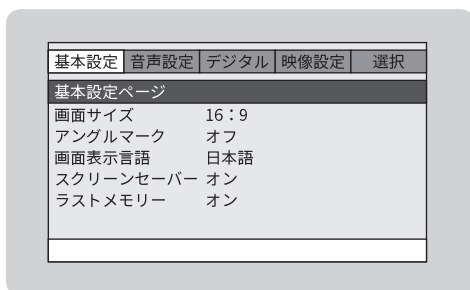
項目を選ぶたび「設定値」欄の表示が切り換わります。

### ③「設定値」を選び、選んだ項目を確定する

- を押して「設定値」欄にカーソルを移動する
- で設定値を選ぶ
- を押して確定する

設定を変える

# 基本設定






## 画面サイズ

接続するテレビ画面の種類を設定します。

### メモ

- この設定の内容は、ディスクの記録状態や接続しているテレビによっても異なる場合がありますので、お好みに合わせて設定してください。

<b>4:3/PS</b>	<p>横縦比 4:3 パンスキャン画面に設定する</p> <p>※ワイド画像は映像の左右部分がカットされ見えません。</p> 
<b>4:3/LB</b>	<p>横縦比 4:3 レターボックス画面に設定する</p> <p>※ワイド画像は全て映りますが上下が黒い画面になります。</p> 
<b>16:9 ワイド</b>	<p>横縦比 16:9 のワイド画面に設定する</p> 

設定を変える

## アングルマーク

複数台のカメラで撮影したソフトを再生する場合は、アングルを変えて見ることができます。

<b>オン</b>	機能を有効にする
<b>オフ</b>	機能を無効にする

## 画面表示言語

設定メニューなどの画面に表示される言語を設定します。

<b>設定値</b>	英語/日本語
------------	--------

## スクリーンセーバー

モニターの画面焼けを防ぐため、停止状態のまま約4分間経過するとDVDロゴを画面上で動かします。

<b>オン</b>	機能を有効にする
<b>オフ</b>	機能を無効にする

## ラストメモリー

停止、または電源を切ったときのディスクの場所を記憶し、次に電源を入れたときに、そこから再生します。

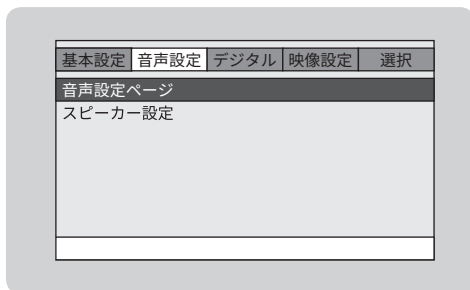
<b>オン</b>	機能を有効にする
<b>オフ</b>	機能を無効にする

### メモ

- ディスクによっては数秒のずれが生じる場合があります。



## 音声設定

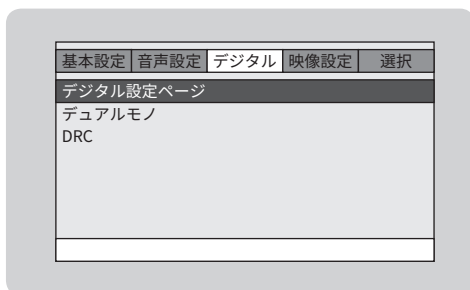


### スピーカー設定

5.1 チャンネル等のマルチチャンネルで記録されたディスクの音声信号を、フロント 2 チャンネルに変換して再生します。

LT/RT	ダウンミックスモード
ステレオ	通常のステレオ

## デジタル設定



### デュアルモノ

音声多重の DVD を再生した際の音声再生方法を選択します。

ステレオ	通常のステレオ
モノラル左	左側の音だけが両側のスピーカーから出る
モノラル右	右側の音だけが両側のスピーカーから出る
ミックスモノラル	左右混合のモノラル

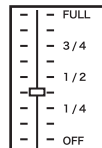
### DRC (ダイナミックレンジ)

ドルビーデジタルのディスクを再生するとき、音量の幅を設定し迫力を調節します。

設定値	OFF ~ FULL
-----	------------

### 設定のしかた

1 **決定** を押す



カーソルが茶色→黄色に変わります。

2 **決定** を押す



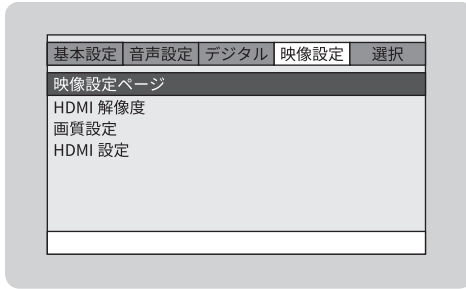
で調節し



を押す

設定を変える

# 映像設定



## HDMI 解像度

テレビへの HDMI 映像信号の出力解像度を設定します。

※本製品を HDMI ケーブルで接続したときに設定します。

自動	接続したテレビに最適な解像度に自動設定されます。 ※解像度が切り換わる際、画面が乱れることがあります。
480i	出力解像度 480 インターレース
480p	出力解像度 480 プログレッシブ
720p	出力解像度 720 プログレッシブ
1080i	出力解像度 1080 インターレース
1080p	出力解像度 1080 プログレッシブ

### メモ

・数値末尾にある“i”または“p”は、それぞれ“インターレース”、“プログレッシブ”を表します。

インターレース	プログレッシブに対応していないテレビと接続しているとき
プログレッシブ	プログレッシブに対応しているテレビと接続しているとき

設定を変える

## 画質設定

以下の各項目について設定できます。

### シャープネス

画面の鮮明度を設定します。

設定値 高/中/低

※HDMI ケーブルで接続している場合、設定を変更しても画面の鮮明度は変わりません。

### ブライトネス

画面の明るさを設定します。

※設定のしかたは下記「ブライトネス・コントラストの設定」をご覧ください。

設定値 -20 ~ +20

### コントラスト

画面のコントラストを設定します。

設定値 -16 ~ +16

## ブライトネス・コントラストの設定

1

決定 を押す

ブライトネス 0

設定画面が表示されます  
(画面はブライトネスの場合)。

2



で調節し 決定 を押す

設定が反映され、ひとつ前の画面に戻ります。

# 映像設定 (つづき)

## HDMI 設定

以下の各項目について設定できます。

※本製品を HDMI ケーブルで接続したときに設定します。

## HDMI 設定

HDMI出力の入/切を設定します。

オン	HDMI ケーブルで接続しているとき (HDMI 機能：オン)
オフ	HDMI ケーブルで接続していないとき (HDMI 機能：オフ)

## オーディオソース

HDMI 出力をおこなう際のオーディオ設定をおこないます。

自動	接続している HDMI 対応機器がドルビーデジタル、または MPEG 等の音声に対応していないとき (自動でリニア PCM 音声に変換して出力する)
PCM	ドルビーのデジタル音声信号のデコード機能を持たない HDMI 対応機器に接続するとき

設定を変える

# 選択設定



## ①ご注意

- ・ディスクやメディアの再生中は、「選択」設定を選ぶことができません。  
「選択」設定は、再生を完全に停止した状態、またはディスクやメディアを挿入していない状態にしてからおこなってください。

## テレビタイプ

テレビの種類を設定します。  
必ず NTSC に設定してください。

※日本のテレビは NTSC 方式です。PAL に設定すると画像が乱れたりカラーが出なくなることがあります。

PAL	外国で使われているテレビの方式です。
自動	自動で選択します。
NTSC	日本で使われているテレビの方式で、通常は NTSC に設定してください。

設定を変える

## 音声言語

DVD 再生時に選択できる音声を設定します。

- ※ディスクにより切り換わらない場合があります。
- ※ディスクのメニューで設定をおこなってください。  
(ディスクメニューで設定した言語が優先されません。)

設定値 英語／日本語

## 字幕言語

DVD 再生時に選択できる字幕言語を設定します。

- ※ディスクにより切り換わらない場合があります。
- ※ディスクのメニューで設定をおこなってください。  
(ディスクメニューで設定した言語が優先されません。)

設定値 英語／日本語

## メニュー言語

DVD 再生時に表示されるメニューの表示言語を設定します。

- ※ディスクにより切り換わらない場合があります。
- ※ディスクのメニューで設定をおこなってください。  
(ディスクメニューで設定した言語が優先されません。)

設定値 英語／日本語

## 初期設定

工場出荷時の設定に戻ります。

# その他

## 困ったときは

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下表で確認してください。それでも症状が改善されない場合はお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンター（➡裏表紙）までご相談ください。

### 電源関連

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない、入ってもすぐ切れる	<ul style="list-style-type: none"><li>電源プラグが抜けている。</li><li>電源プラグが抜けかかっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。</li></ul>

### リモコン関連

症状	考えられる原因	対処方法
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none"><li>電池の極性(+/-)が間違っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>電池の極性(+/-)を確認し、正しく入れてください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>電池が消耗している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>新しい電池と交換してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンを本体のリモコン受光部に向けていない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>本体のリモコン受光部に向けて操作してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンの受光範囲を超えている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>受光範囲内で操作をしてください。</li></ul>

### 操作・再生関連

症状	考えられる原因	対処方法
映像も音もない	<ul style="list-style-type: none"><li>ケーブル類は正しく接続されていますか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ケーブル類の接続を確認してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>テレビの入力切換は正しくされていますか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>テレビの入力切換を確認してください。</li></ul>
再生できない	<ul style="list-style-type: none"><li>テレビの入力切換は正しくされていますか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>テレビの入力切換を確認してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>ディスクが入っていない。</li><li>ディスクトレイが閉まっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>【開/閉】ボタンを押して確認してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>ディスクが裏返しに入っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>レーベル面を上にして入れてください。</li></ul>

その他

(次ページへ続く)

## 困ったときは (つづき)

症状	考えられる原因	対処方法
再生できない (前ページより続き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクが傷ついているか、汚れている。</li> <li>ディスクの機械部が結露状態になっていませんか。</li> <li>リージョンコードが合っていない。</li> <li>ファイナライズ処理されていない DVD-R ディスクではありませんか。</li> <li>一時停止状態になっていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクを交換するか、汚れを取り除いてください。</li> <li>ディスクを取り出し、1 時間ほどそのままにしてください。</li> <li>本機では“2”または“ALL”以外には対応していません。</li> <li>本機ではファイナライズ処理されていない DVD-R ディスクは再生できません。</li> <li>再生 / 一時停止ボタンを押してください。</li> </ul>
画像ファイル・音声ファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生できるファイル形式で記録されていますか。</li> <li>USB メモリの容量が 16GB を超えていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイル形式を確認してください。本機で再生できるファイル形式はMP3/WMA、JPEG、AVI (最大解像度：720×480) ファイルだけです。 ※ 対応ファイルであっても作成方法や作成した機器によっては本機で再生できない場合があります。</li> <li>本機で使用できる USB メモリは 16GB 以下です。</li> </ul>
ディスクが入っているのに“no Cd”と表示が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクが裏返しに入っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レーベル面を上にして入れてください。</li> </ul>
画像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機で再生できないディスクが入っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機で再生できるディスクを入れてください。</li> </ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>AV ケーブルが抜けている。(AV ケーブルで接続している場合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しく接続されているか確認してください。</li> </ul>
音がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定が間違っていないですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定を確認してください。</li> </ul>
画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>AV ケーブルが抜けている。(AV ケーブルで接続している場合)</li> <li>早送り、もしくは早戻し再生を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しく接続されているか確認してください。</li> <li>早送り / 早戻し再生のときは画像が多少乱れます。</li> </ul>
一時停止、リピート再生が実行できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>これらの機能が使用できないディスクを再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これらの機能が使えないディスクがあります。</li> </ul>
音声言語や字幕言語を変更できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクに複数の言語が記録されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクにより 1 つの言語だけのものがあります。</li> </ul>

# おもな仕様

## プレーヤー本体

品名	HDMI端子付き据置DVDプレーヤー
品番	TH-HDV01
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	8W
入出力端子	HDMI出力端子 (Ver1.3)、音声出力端子、映像出力端子、USB端子
再生可能ディスク	DVD、DVD-R、DVD-RW、CD、CD-R、CD-RW
対応フォーマット	DVD-Video、DVD-VR (CPRM)、CD-DA、MP3、WMA、JPEG
メディア最大容量	USB2.0対応USBメモリ：最大16GB
信号方式	NTSC/PAL
リモコン電源	単4形乾電池×2
リモコン到達距離	3m以内 (本体リモコン受光部正面から)
付属品	リモコン、単4形乾電池×2 (リモコン動作確認用)、AVケーブル、HDMIケーブル、取扱説明書、保証書
外形寸法	約225 (W) × 220 (D) × 47 (H) mm
本体質量	約760g
製造国	中国

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

## 免責事項

- ※地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害 (事業利益の損失・事業の中断など) に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤操作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

## DVD/CD について

- ※DVD、CDの使用から生じる傷や汚れに関して、当社は一切責任を負いません。

## データについて

- ※MP3/WMAファイルやJPEGファイルで大切なデータはパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。本機で使用することによって、万一何らかの不具合が生じた場合、データの損失や記録できなかったデータの補償、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※誤った使いかたをするとデータが破損・削除されることがあります。記録されたデータの破損・削除については、故障や損害の内容・原因に関わらず、当社は一切責任を負いません。

その他

# アフターサービス

- 万一、本体を落したり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください。(有料)
- 本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。

## 保証書

本製品には保証書が付いています。  
保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。  
保証期間はお買上げ日より1年間です。

## 修理を依頼するとき

### 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容により無料修理いたします。

### 保証期間が過ぎているときは

弊社またはお買上げの販売店にご相談ください。

## 高温に対するご注意

特に夏場での窓を閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、暖房器具の近くには放置しないでください。高温により変色や故障の原因になります。

.....

## ウィンコード株式会社

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5丁目18番11号山田ビル2F

TEL:03-5615-2414

E-mail:support@wincod.co.jp

受付時間:10時~17時 月曜日~金曜日(土日祝日を除く)